別記様式１－１（第３ 定期性能検査結果の報告）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **登録製品の定期性能検査試験報告書**　　年　　月　　日板硝子協会　殿防犯性能の高い建物部品目録に掲載されている登録製品について、板硝子協会規程第３ 定期性能検査結果の報告に関する事項に基づき防犯性能の定期性能検査試験報告書を提出します。１　申請者　　・事業者名　：　　・住所　　　：　　・担当者氏名：・連絡先　　：TEL　　　　　　　　　　　FAX　　・担当者メールアドレス：２　商品名・構成　　・商品名　　：　　・ガラス構成：　　・製造元　　：３　試験実施日　　・　　　年　　月　　日４　試験場所　　・試験会場：５　試験方法：JIS R 3108 「建築用ガラスの落球による防犯性能試験方法」に準拠・鋼球は、直径100±0.2mm、質量4.11±0.06kgとする。　　・防犯性能区分P2A（落球高さ3000±50mm）とし、鋼球の底から供試体の表面までの距離とする。　　・試験室雰囲気温度は18℃±5℃とする。　　・判定基準：鋼球が当たってから５秒未満に供試体を完全に貫通しないこと。６　試験の実施内容と結果　　・鋼球の径と質量　：直径　　　　mm、質量　　　　kg・鋼球の落下高さ　：　　　ｍ　　・試験室雰囲気温度：　　　℃　　・添付資料：鋼球落下試験結果の写真（供試体３枚）・試験結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 供試体 | 加撃１回目 | 加撃２回目 | 加撃３回目 |
| Ｎｏ.１ | 　　　 |  |  |
| Ｎｏ.２ |   |  |  |
| Ｎｏ.３ |   |  |  |

　　　○:中間膜に亀裂なし　△：中間膜に亀裂発生　×：鋼球が貫通 |

添付資料（鋼球落下試験結果の写真）

写真－１ 供試体①試験結果状況

写真－２ 供試体②試験結果状況

写真－３ 供試体③試験結果状況